

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	北堀けさ江
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3152
<b>事務事業名</b>	4055 契約事業											
<b>所 属</b>	050300 総務部・財政課											
<b>施 策</b>	17024500 長期的展望に立った財政運営											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	020105 総務費・総務管理費・財産管理費										
	<b>事業</b>	020000 契約事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
入札・契約事務における、より一層の透明性、公平性、競争性を確保する。						公共工事の入札及び契約の適正化を促進し、入札の透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保のため、必要に応じて入札・契約制度の条例規則等の改正を行う。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
入札・契約制度の随時見直し コロナ禍出の入札の方法を検討した。	長野県での共同入札方式の検討。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		2,698	2,982
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,698	2,982
人員数(人)	正規職員	1.3	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	9,058.4	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,058.4	0.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.1
総額		11,756.4	2,982.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	90	消耗品費 88
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,608	システム使用料等 2,096

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	100	消耗品費 95
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,882	臨時職員関係 271、郵便料 3、システム使用料等 2,608、

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	より良いものを、より適正価格で 公正公平な公共調達に努めることで、市民の生命・財産を守っていく。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	公共調達のあり方について、各所からの通知や提言をもとに改善を図り、市民のための財産確保に努めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	入札に関して不調の件数をなくす。また入札公告等修正や取り下げ等の件数を減らし、より須坂のためになる公共調達に努める	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍の中、緊急的な契約が多くなった。市民への影響が出ないよう、臨機応変な契約事務に努めた。また 長野県での共同による電子入札制度導入の提案を受け、来年度は導入に向け現実的に見直しを行う準備を始めた。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
より多くの市内業者が公平公正に受注できる仕組みづくりを検討するとともに、長野県が行う電子入札制度への参加の検討を引き続き行う。		入札及び契約の適正化を促進し、公平公正な入札執行に努めた。今後は、長野県電子入札制度について研究検討を行う。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	